

# 親切運動の取組について

富山市立蜷川小学校  
児童数 659名

## 1 親切運動の取組の紹介

### (1) よりよい蜷川小学校を目指して取り組む6年生

6年生は、よりよい蜷川小学校を目指して、一人一人が自分たちにできることを考えて自主的に様々なボランティア活動に取り組んでいる。登校後「気持ちのよい環境を整えたい」とすぐに正面玄関や児童玄関、階段を掃除している。また、「もっと仲よしの輪を広げたい」と1年生の朝の支度を手伝ったり、休み時間に下級生と交流をしたりしている。6年生が年間を通して自主的によりよい学校を目指して活動する姿は下学年のよい手本となり、蜷川小学校のよき伝統となっている。



### (2) 「思いやりを広げよう」挨拶運動

「思いやり あふれる！広がる！つながる！」を児童会のスローガンに掲げ、毎朝、運営委員会の子供たちが中心となり挨拶運動に取り組んでいる。9月には笑顔で挨拶をしてほしいという願いから「全校ニコッとあいさつウィーク」を企画し、温かな挨拶の輪を広げることができた。また、6月と11月には、本校を卒業した中学生と一緒に小中合同挨拶運動を行った。玄関では気持ちのよい挨拶の音が響き、登校してくる子供もさわやかな挨拶を交わしていた。活動後に小学生と中学生が互いへの感謝の気持ちや次への意欲を伝え合うことで、蜷川地区をさらに挨拶いっぱい地域にしていこうとする気持ちが高まった。



### (3) 縦割りファミリー班活動での異学年交流

全校児童を色団ごとに17の班に分け、6年生が中心となって縦割りファミリー班活動を行っている。みんなで輪になってカードゲームを楽しんだり、風船バレーをして体を動かしたり、新聞じゃんけんで真剣に勝負をしたりするなど、どの班も学年に関係なく交流を深めている。異学年で交流することを通して「相手を思いやる心」が育まれている。



## 2 親切運動に取り組んで

### ○ 取組の成果

親切運動の様々な取組を通して、本校が大事にしている「学びに向かう力」「自尊感情」「仲間意識」が少しずつ育まれ、学校経営ビジョンである「みんなで創る 楽しさを感じ合える学校—誰もがWell-Beingな学校をつくろう—」の姿に近付いている。

### ○ 課題と今後に向けて

紹介した取組は全て今年スタートしたものではなく、今までの子供たちが積み重ねてきた学校のよき伝統である。毎年、その取組をさらによりよいものにしていこうと教職員、子供たちが創意工夫をしている。これからも「昨年度取り組んでいたから行う」ではなく、よりよい蜷川小学校にするために何ができるかを考えながら自主的な活動になるように取り組んでいきたい。